

分布：雲南、廣西、廣東。

22) *Jasminum nintooides* REHDER. 分布：雲南。

23) *Jasminum sambac* AIT.=*Nyctanthes Sambac* LINN.=*Nyctanthes undulatum* LINN.=*J. bicorollatum* NORONHA=*J. odoratum* NORONHA=*Mogorium Sambac* LAM.=*Mogorium undulatum* LAM.=*J. fragrans* SALISB.=*J. Sambac* ROXB.=*J. pubescens* HAMILTON=*J. quadrifolium* HAMILTON=*J. quinqueflorum* HEYNE=*J. undulatum* HORT=*J. Heyneanum* WALL.=*J. sambac* WIGHT. 分布：廣西、廣東、福建。

24) *Jasminum multiflorum* ANDREWS=*Nyctanthes multiflora* BURM.=*Nyctanthes pubescens* RETZ.=*J. pubescens* WILLD.=*Mogorium pubescens* LAM.=*J. Esquirolii* LÉVEILLÉ. 分布：廣西、廣東、貴州。

25) *Jasminum coarctatum* ROXB.=*J. reticulatum* WALL. 分布：雲南、アッサム。

26) *Jasminum amplexicaule* HAMILTON=*J. undulatum* KER-GAWL.=*Jasminum aristatum* WALL.=*J. scandens* GRIFFITH. 分布：廣東、印度。

26a) *Jasminum amplexicaule* HAM. var. *elegans* KOBUSKI comb. nov.=*J. undulatum* var. *elegans* HEMSL. 分布：廣東省。 (J. O)

前原勘次郎氏：南肥植物誌

本邦地方植物誌の發表せられたものは既に吉野善介氏の備中植物誌、宇井縫藏氏の紀州植物誌、土井美夫氏の薩摩植物誌などの二三に止らぬが、今回更に前原勘次郎氏に依つて南肥植物誌が公表せられた。

著者前原氏は職を熊本縣立人吉高等女學校に奉じ、熊本縣師範學校卒業以來、二十一年間一日の如く南肥植物區系の探究に心血を注がれ、其の間大正七年には主として同氏の採集による球磨郡植物目錄を編纂したのを手始めとし、研究の進むに従つて幾回となくこれを増補訂正して來たのであるが、昨秋熊本縣下特別大演習の際、五十五種の標本を天覽に供し奉つた所全部御持歸りの光榮を荷ひ、こゝにこれを記念せんが爲に現はれたのがこの一書である。

登載の植物は肥後國南半に於ける羊齒植物及び顯花植物の天生品1664種に就き、其の學名並に産地を記したもので、採集の地域は球磨川流域と、之に西隣せる球磨川口以南の八代海斜面區域であつて、球磨郡、葦北郡の全部と八代郡の一部とを包含して之を南肥と稱し、採用せる科名並に其の排列の順序は主としてエングラウ氏の分類式により、附録として南肥以外の九州地域に於る著者の採集せる新品の主なもの、並に其の他の事項を列舉し、最後に特殊植物二十種の寫眞版が添へてある。

小泉博士によれば、南肥地方は日本南嶽の外帶、球磨關東太古山脈の西端に位し

て植物地理學上中部支那要素の存在は注目すべきであると云ふが、かゝる地方に於る前原氏の二十年間の努力は幾多の新植物、新事實の發見を以てし、學界に貢獻せる所は頗る多く、本書に於ても亦新に公表された植物は十數種に達してゐる。

こゝに特筆すべきは、前原氏が極く普通の植物といへどもこれを完全無缺比類なき好標本に製して専門家の鑑定を仰がれた爲に、主なるものはすべて京大又は東大の腊葉庫に保存されてゐることである。かくしてこそ始めて本書は其の正確さを將來にも期し得らるゝのである。

とにかく本書は地方植物誌の模範ともすべきもので、九州、四國、紀州等本邦暖地は言ふまでもなく、其の他の地方の研究者にも好指針となることは疑はない。

(發行所 熊本縣人吉町字寺町十九 前原勸次郎 定價貳圓 郵税六錢) (田川基二)

シャーフ氏：タウコギ屬の研究 (EARL EDWARD SHERFF: Studies in the Genus *Bidens*. X. in the Botanical Gazette vol. XCIII. 1932 April. p. 212.)

シャーフ氏は今後出版さるべき同氏のタウコギ屬の Monograph の豫報として現在知られてゐる二百八種を十四の節に分類した。

第一節 *Campylotheca* (CASS.) NUTT.

通常成育すれば灌木となるいつも平滑で汁には人參の香が多少ある頭花は大抵多數で舌狀花がある瘦果はまつすぐな事もあればねぢれてゐる事もある大抵二つの刺があり刺には通常下向のひつかゝりがある。太平洋の島の植物 Type は *B. micrantha* GAUD. 四十八種がこれに入る。

第二節 *Degeneria* 新節

生殖部特に花柱はとても長くひどく抜け出してゐる Type は *B. cosmoides* (GRAY) SHERFF. で屬するのはこの種だけである。

第三節 *Neurophyllum* 新節

多年生草木地について延びて行く葉は厚くなつて脈が目立つ Type は *B. clarendonensis* BRITT. で屬するのはこの種だけである。

第四節 *Colmtonia* 新節

灌木葉は楕圓形鋭尖頭並びに Type なる *B. monticola* POEPP. & ENDLICH. の特徴を有す屬するものはこの種だけである。

第五節 *Greenmania* SHERFF.

熱帶亞米利加に産する多年生草木、普通は攀緣、莖の長さは五乃至十米頭花は多數